



“六ヶ所村ラブソディー”に続く

来春公開映画「ミツバチの羽音と地球の回転」

の制作過程をいち早くお届けするビデオレター第2弾！

鎌仲ひとみ監督

# 「ぶんぶん通信 no.2」 お披露目上映会 & 最新報告会

ホットスポット！生物多様性の海を守れるか？

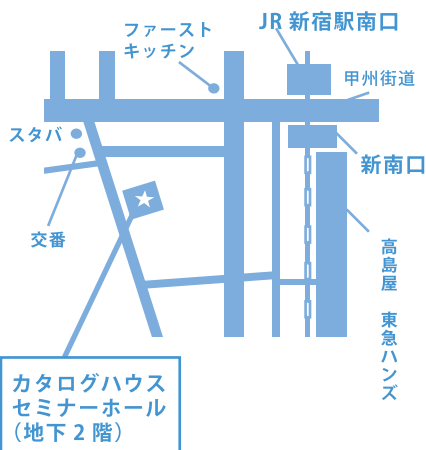
— 希少生物の宝庫に原発建設の埋め立てが迫る —

**7/11 (土) 新宿** | カタログハウス本社B 2階セミナーホール  
東京都渋谷区代々木2-12-2 カタログハウス本社ビル地下2階

一般 800円 高校生以下 500円 小学生以下 無料 (定員 180名)

開場 12:30 1回目上映会  
上映 13:00 1回目「ぶんぶん通信 no.2」  
開場 15:30 2回目上映会  
上映 16:00 2回目「ぶんぶん通信 no.2」  
終了 18:00

- \*各回入替制です。
- \*各回上映後に鎌仲監督による最新報告会を行います。
- \*報告会のみ参加はできません。
- \*各回定員180名です。当日は先着順、事前申込は不要です。  
(万一混雑時の立ち見、入場制限等ご了承下さい。)



— お問い合わせ —

グループ現代 「ミツバチの羽音と地球の回転」制作プロジェクト 担当：藤井

TEL：03-3341-2863 FAX：03-3341-2874

E-MAIL：888earth@g-gendai.co.jp

<http://888earth.net/>

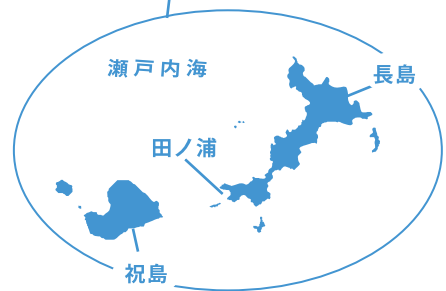
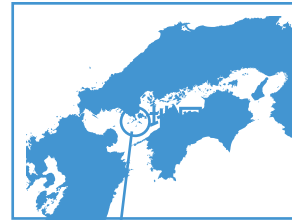
## 一 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」一

前作「六ヶ所村ラブソフィー」では原子力産業の最前線で生きる六ヶ所村の人々取材しました。どのようなエネルギーを今、選択するのか。持続可能を求めて、今度はカメラをスウェーデンと日本の山口県祝島へ向けようと思います。スウェーデンは脱原発を国民投票で決め、2020年までに石油にも依存しない社会づくりを目指しています。

山口県祝島には今、56基目の原発建設計画が進められています。1000年以上に渡り、祝島の人々が育んできた自然と共生するあり方、文化の持続性が、原発建設に伴う環境破壊の前に危機に瀕しています。日本とスウェーデン、また各地で新しいエネルギーを模索する人々や地域が存在しています。現場で矛盾と格闘しながらも、さまざまな課題を乗り越え取り組んできたその営みのなかに、あたらしい持続可能な社会の原点と未来の可能性があるのではないかと。社会をシフトする人間のエネルギーやネットワークが生み出されてようとしているその瞬間を記録し、発信する映画＝新しいメディアを目指しています。

## 「ぶんぶん通信」とは？

「ぶんぶん通信」は映画「ミツバチの羽音と地球の回転」の制作過程を公開するビデオレターです。いわば映画の卵のようなもの。今まさに起きている現実をなるべくリアルタイムで報告します。no.2では山口県祝島と原発建設予定地田ノ浦を中心に報告します。



原発建設予定地  
田ノ浦周辺に棲む希少種たち

### ・ナメクジウオ



### ・ヤシマイシン近似種



### ・ヒラタブンブク



### ・カンムリウミスズメ



### ・スナメリ



### ・カサシャミセン

### ・ハヤブサ